



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3929 URL <https://www.socialwire.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務経理部長 (氏名) 荻巣 知子 TEL 03-5363-4872  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月18日 配当支払開始予定日 2021年6月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月18日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインにて対応）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,566	16.3	125	△37.7	109	△31.3	△143	—
2020年3月期	3,924	20.2	201	△50.3	159	△59.8	72	△69.7

（注）包括利益 2021年3月期 △166百万円（－％） 2020年3月期 66百万円（△69.3％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△23.83	—	△12.1	2.1	2.7
2020年3月期	12.23	12.10	5.6	3.8	5.1

（参考）持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

（注）当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,172	1,080	20.6	176.88
2020年3月期	5,010	1,318	25.8	214.86

（参考）自己資本 2021年3月期 1,066百万円 2020年3月期 1,294百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	659	△817	164	942
2020年3月期	699	△973	340	942

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	71	98.6	5.4
2021年3月期	—	6.50	—	2.50	9.00	54	—	4.5
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）2022年3月期（予想）の配当金につきましては、現時点で業績予想が困難であることから未定としております。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

新型コロナウイルス感染拡大による市場変動要素が事業へ与える影響が未だ大きく、影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定とさせていただきます。連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。なお、詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2021年3月期	6,108,600株	2020年3月期	6,103,200株
2021年3月期	77,106株	2020年3月期	77,060株
2021年3月期	6,030,120株	2020年3月期	5,950,416株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,953	30.8	94	△41.3	76	△49.4	△149	—
2020年3月期	3,021	22.1	161	△59.3	151	△61.6	79	△62.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△24.72	—
2020年3月期	13.34	13.20

(注) 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	4,704		1,094		23.2		180.98	
2020年3月期	4,184		1,317		31.3		217.80	

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,091百万円 2020年3月期 1,312百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、経済・社会活動が停滞したことにより急激な減速に転じました。経済活動の再開は段階的に進められつつありますが、感染の再拡大やそれに伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等もあり、特定の業界においては依然として不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは「ビジネスプラットフォームの創造へ ～BUILDING A BETTER ADVANCE～」をビジョンとし、全事業の拡大・売上高の最大化に注力し、足元の業績を成長させてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、4,566,083千円（前連結会計年度比16.3%増）と、増収となりました。また、利益につきましては、営業利益125,313千円（前連結会計年度比37.7%減）、経常利益109,287千円（前連結会計年度比31.3%減）となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益70,183千円等の計上があった一方、固定資産等の減損損失323,479千円等を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は143,670千円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純利益72,785千円）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。数値はセグメント間の取引消去後となっております。

#### (デジタルPR事業)

デジタルPR事業は、企業や官公庁・団体等に対して、インフルエンサーPRサービス、新聞・雑誌・WEB・SNS等各種メディアのクリッピング（調査・報告）サービス、製品・サービスや事業等に関するリリース配信サービスを運営しております。

当連結会計年度において、営業人員を増員した状況下、インフルエンサーPRサービスは新型コロナウイルス感染拡大によるイベント・案件の中止や延期の影響があったものの、7月以降の需要回復もあり、案件数は大きく増加（前連結会計年度比49.7%増）いたしました。メディアクリッピングサービスの案件数は横ばい（前連結会計年度比0.9%増）となった一方で、リリース配信サービスについては配信数が前連結会計年度比57.9%増、利用社数は前連結会計年度比42.0%増と、ともに大きく拡大いたしました。

この結果、デジタルPR事業の売上高は前連結会計年度に比べ401,608千円増加し、2,390,285千円（前連結会計年度比20.1%増）となり、セグメント利益は前連結会計年度に比べ74,249千円減少し、464,059千円（前連結会計年度比13.7%減）となりました。

#### (シェアオフィス事業)

シェアオフィス事業は、アジア主要8都市（東京（新宿2拠点、六本木、青山、渋谷、新橋）、横浜、仙台、シンガポール、インドネシア（※）、インド、ベトナム、タイ）でシェアオフィスサービス、クラウド翻訳サービスを運営しております。

当連結会計年度において、主要サービスであるシェアオフィスについては、2020年3月期に新規拠点を開設した効果もあり、累積稼働席数は国内拠点では大きく増加（前連結会計年度比19.7%増）いたしました。加えて、新拠点となる「クロスコープ横浜」を2021年1月に開設いたしました。一方、海外拠点については、新型コロナウイルス感染拡大により、一部の国においては事業環境が大きく悪化し、回復時期の特定が極めて困難であることから、2020年11月にインド及びフィリピンにおける事業撤退を決定したこと等もあり、累積稼働席数は減少（前連結会計年度比6.3%減）いたしました。

この結果、シェアオフィス事業の売上高は前連結会計年度に比べ239,479千円増加し、2,175,798千円（前連結会計年度比12.3%増）、セグメント利益は拠点新設効果もあり前連結会計年度に比べ53,713千円増加し、62,362千円（前連結会計年度比621.0%増）となりました。

（※）インドネシア拠点はフランチャイズによる運営です。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当連結会計年度末における資産の額は5,172,912千円と、前連結会計年度末に比べ161,974千円の増加となりました。資産の増加の主な要因は、使用権資産が344,672千円減少した一方で、差入保証金が499,894千円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債の額は4,092,535千円と、前連結会計年度末に比べ400,319千円の増加となりました。負債の増加の主な要因は、リース債務（流動負債を含む。）が、292,970千円減少した一方で、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が440,500千円増加、資産除去債務（流動負債を含む。）が120,999千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産の額は1,080,376千円と、前連結会計年度末に比べ238,344千円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失の計上143,670千円及び配当金の支払75,356千円により、利益剰余金が219,027千円減少したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は942,914千円と、前連結会計年度末に比較して136千円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は659,130千円（前連結会計年度は699,807千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失171,747千円、減価償却費479,040千円、減損損失323,479千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は817,230千円（前連結会計年度は973,962千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入143,121千円があった一方、有形固定資産の取得による支出317,249千円、差入保証金の差入による支出577,201千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は164,004千円（前連結会計年度は340,328千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入763,000千円、短期借入れによる収入363,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入4,393千円があった一方、長期借入金の返済による支出322,112千円、短期借入金の返済による支出363,000千円、リース債務の返済による支出206,049千円、配当金の支払額75,356千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	25.8	20.6
時価ベースの自己資本比率(%)	68.7	93.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.9	3.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	17.4	16.3

各指標の算出式は次のとおりであります。

自己資本比率＝自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。  
2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。  
3. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。  
4. 有利子負債は連結貸借対照表上に計算されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループといたしましては、今後とも「ビジネスプラットフォームの創造へ～BUILDING A BETTER ADVANCE～」をビジョンとし、グローバルなビジネス環境を構築し、支援していきたいと考えております。

当社グループを取り巻く事業環境は、インフルエンサーマーケティング・調査・広報/PR・レンタルオフィス・翻訳・国際事業等、多岐に渡っておりますが、いずれの領域も中長期的に成長を続けるものと見込んでおり、更なる企業成長を目指しております。

当社の業績予想につきましては、入手し得る適正かつ合理的であると判断する一定の条件に基づき策定するよう努めております。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等の発出により、経済活動の一時停止、悪化状況の持続等の市場変動要素が事業へ与える影響が未だ大きいことを勘案し、2022年3月期の業績予想は非開示とし、事業環境の推移を注視しながら、一定水準の合理的な見通しが可能と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により連結財務諸表を作成しており、当社グループの財政状態、経営成績等を適切に表示していると判断しています。国際会計基準については、今後、当社事業のグローバル展開の状況を踏まえつつ、日本基準との差異の把握等を進めたうえで、適用可能性を検討していきます。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	942,778	942,914
受取手形及び売掛金	264,803	344,262
その他	264,631	296,562
貸倒引当金	△4,721	△6,542
流動資産合計	1,467,491	1,577,197
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,555,710	1,625,978
工具、器具及び備品	428,590	454,123
使用権資産	873,555	528,883
その他	49,411	54,659
減価償却累計額	△917,229	△1,035,043
有形固定資産合計	1,990,038	1,628,601
無形固定資産		
のれん	189,238	149,729
ソフトウェア	183,742	156,590
その他	4,174	3,812
無形固定資産合計	377,155	310,132
投資その他の資産		
投資有価証券	103,021	37,198
長期貸付金	94,401	56,290
差入保証金	950,290	1,450,185
繰延税金資産	53,427	137,954
その他	23,353	14,706
貸倒引当金	△48,242	△39,354
投資その他の資産合計	1,176,251	1,656,980
固定資産合計	3,543,445	3,595,714
資産合計	5,010,937	5,172,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	322,112	365,293
未払金	234,393	253,790
未払法人税等	28,870	33,408
前受金	486,897	499,307
リース債務	215,657	145,942
預り保証金	292,788	295,940
資産除去債務	—	25,439
その他	93,855	180,545
流動負債合計	1,674,575	1,799,666
固定負債		
長期借入金	1,120,641	1,517,960
資産除去債務	408,884	504,444
繰延税金負債	1,718	2,521
リース債務	420,909	197,654
その他	65,486	70,287
固定負債合計	2,017,640	2,292,868
負債合計	3,692,216	4,092,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	352,031	354,789
資本剰余金	291,797	294,556
利益剰余金	688,369	469,342
自己株式	△45,188	△45,245
株主資本合計	1,287,009	1,073,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,923	△63
為替換算調整勘定	5,815	△6,531
その他の包括利益累計額合計	7,739	△6,594
新株予約権	4,955	2,972
非支配株主持分	19,017	10,556
純資産合計	1,318,721	1,080,376
負債純資産合計	5,010,937	5,172,912

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,924,994	4,566,083
売上原価	2,175,571	2,501,653
売上総利益	1,749,423	2,064,429
販売費及び一般管理費	1,548,208	1,939,116
営業利益	201,214	125,313
営業外収益		
受取利息	2,073	1,897
受取配当金	—	938
受取手数料	1,066	797
助成金収入	900	15,992
リース解約益	—	22,339
その他	2,508	2,615
営業外収益合計	6,548	44,580
営業外費用		
支払利息	39,967	40,524
投資事業組合運用損	2,953	2,736
為替差損	1,227	1,790
その他	4,361	15,554
営業外費用合計	48,509	60,606
経常利益	159,253	109,287
特別利益		
投資有価証券売却益	—	70,183
新株予約権戻入益	3	1,162
特別利益合計	3	71,345
特別損失		
減損損失	19,627	323,479
貸倒引当金繰入額	—	26,059
関係会社整理損	—	2,841
特別損失合計	19,627	352,381
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	139,629	△171,747
法人税、住民税及び事業税	79,449	62,541
法人税等調整額	△6,859	△82,922
法人税等合計	72,590	△20,380
当期純利益又は当期純損失(△)	67,038	△151,367
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△5,746	△7,696
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	72,785	△143,670

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	67,038	△151,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,940	△1,987
為替換算調整勘定	△1,985	△13,269
その他の包括利益合計	△44	△15,256
包括利益	66,994	△166,623
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	72,898	△158,004
非支配株主に係る包括利益	△5,904	△8,619

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	341,330	283,330	689,979	△45,107	1,269,532
会計方針の変更による累積的影響額			△5,340		△5,340
会計方針の変更を反映した当期首残高	341,330	283,330	684,639	△45,107	1,264,192
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	10,701	10,701			21,402
剰余金の配当			△68,229		△68,229
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			72,785		72,785
連結範囲の変動			△825		△825
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△2,233			△2,233
自己株式の取得				△81	△81
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	10,701	8,467	3,729	△81	22,816
当期末残高	352,031	291,797	688,369	△45,188	1,287,009

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△17	7,643	7,625	5,253	29,292	1,311,704
会計方針の変更による累積的影響額					△642	△5,982
会計方針の変更を反映した当期首残高	△17	7,643	7,625	5,253	28,650	1,305,722
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)						21,402
剰余金の配当						△68,229
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						72,785
連結範囲の変動						△825
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△2,233
自己株式の取得						△81
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,940	△1,827	113	△297	△9,633	△9,817
当期変動額合計	1,940	△1,827	113	△297	△9,633	12,999
当期末残高	1,923	5,815	7,739	4,955	19,017	1,318,721

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	352,031	291,797	688,369	△45,188	1,287,009
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	2,758	2,758			5,517
剰余金の配当			△75,356		△75,356
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△143,670		△143,670
自己株式の取得				△56	△56
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	2,758	2,758	△219,027	△56	△213,566
当期末残高	354,789	294,556	469,342	△45,245	1,073,442

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,923	5,815	7,739	4,955	19,017	1,318,721
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)						5,517
剰余金の配当						△75,356
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△143,670
自己株式の取得						△56
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,987	△12,347	△14,334	△1,983	△8,460	△24,778
当期変動額合計	△1,987	△12,347	△14,334	△1,983	△8,460	△238,344
当期末残高	△63	△6,531	△6,594	2,972	10,556	1,080,376

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	139,629	△171,747
減価償却費	451,961	479,040
のれん償却額	36,646	32,399
減損損失	19,627	323,479
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,145	27,974
受取利息及び受取配当金	△2,073	△2,835
支払利息	39,967	40,524
為替差損益(△は益)	1,227	1,790
投資事業組合運用損益(△は益)	2,953	2,736
リース解約益	—	△22,339
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△70,183
売上債権の増減額(△は増加)	△28,126	△79,788
前受金の増減額(△は減少)	70,417	13,911
未払金の増減額(△は減少)	33,170	45,906
預り保証金の増減額(△は減少)	167,201	4,187
その他	△67,894	125,184
小計	865,854	750,241
利息及び配当金の受取額	2,073	2,835
利息の支払額	△40,086	△40,392
法人税等の支払額	△128,034	△53,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	699,807	659,130
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△555,711	△317,249
無形固定資産の取得による支出	△58,792	△61,238
投資有価証券の取得による支出	△60,125	△13,268
投資有価証券の売却による収入	—	143,121
貸付金の回収による収入	4,189	2,353
事業譲受による支出	△25,000	—
差入保証金の差入による支出	△280,585	△577,201
差入保証金の回収による収入	70	5,439
その他	1,991	815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△973,962	△817,230
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	363,000
短期借入金の返済による支出	—	△363,000
長期借入れによる収入	840,000	763,000
長期借入金の返済による支出	△275,833	△322,112
新株予約権の行使による株式の発行による収入	19,890	4,393
リース債務の返済による支出	△170,802	△206,049
配当金の支払額	△68,229	△75,356
その他	△4,696	130
財務活動によるキャッシュ・フロー	340,328	164,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△821	△5,768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65,351	136
現金及び現金同等物の期首残高	877,426	942,778
現金及び現金同等物の期末残高	942,778	942,914

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の判定・評価について、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内外の移動の制限等を受け、新規取引案件に関する商談機会の減少が、当社グループの営業活動に影響しております。依然として感染拡大が続いており、2021年4月以降も当該影響が続くと仮定した上で、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、会計上の見積りを行っております。なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が提供するサービスについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは会社又は事業部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「デジタルPR事業」「シェアオフィス事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの内容は以下のとおりであります。

- (1) デジタルPR事業          インフルエンサーPR、クリッピング、リリース配信等
- (2) シェアオフィス事業      シェアオフィス、クラウド翻訳等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	デジタルPR事業	シェアオフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,988,676	1,936,318	3,924,994	—	3,924,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,215	1,215	△1,215	—
計	1,988,676	1,937,534	3,926,210	△1,215	3,924,994
セグメント利益	538,309	8,648	546,958	△345,743	201,214
セグメント資産	1,026,311	3,327,643	4,353,955	656,982	5,010,937
その他の項目					
減価償却費	62,141	377,898	440,039	11,922	451,961
のれん償却額	31,847	4,799	36,646	—	36,646
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	75,529	1,627,606	1,703,136	3,409	1,706,545

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△345,743千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額656,982千円は、報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	デジタルPR事業	シェアオフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,390,285	2,175,798	4,566,083	—	4,566,083
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	996	996	△996	—
計	2,390,285	2,176,794	4,567,080	△996	4,566,083
セグメント利益	464,059	62,362	526,422	△401,109	125,313
セグメント資産	850,282	3,489,295	4,339,577	833,335	5,172,912
その他の項目					
減価償却費	67,034	399,136	466,170	12,870	479,040
のれん償却額	32,399	—	32,399	—	32,399
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	238,045	369,649	607,694	36,526	644,221

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△401,109千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額833,335千円は、報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

「シェアオフィス事業」セグメントにおいて19,627千円を減損損失として特別損失に計上しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

「シェアオフィス事業」セグメントにおいて280,207千円、「デジタルPR事業」セグメントにおいて14,508千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において28,763千円を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は323,479千円であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	214円86銭	176円88銭
1株当たり当期純利益又は1株 当たり当期純損失(△)	12円23銭	△23円83銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	12円10銭	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株 主に帰属する当期純損失(△) (千円)	72,785	△143,670
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	72,785	△143,670
普通株式の期中平均株式数(株)	5,950,416	6,030,120
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千 円)	—	—
普通株式増加数(株)	63,214	—
(うち新株予約権(株))	(63,214)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	新株予約権1種類(新株予約権 の数1,770個(普通株式177,000 個))	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。